

久留米大学を受診した患者さんへ

「卵巢漿液性腺癌の病理組織細分類に基づく治療個別化の探索」の研究に使用する試料について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の試料を使用します。

- 1) 期間：平成 27 年 5 月 1 日から平成 27 年 9 月 30 日
- 2) 受診科：産婦人科
- 3) 対象疾患名：卵巢癌
- 4) 使用する試料：(組織)

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：JGOG

研究代表者：京都大学医学部附属病院 産科婦人科 教授 小西郁生

研究分担者：京都大学医学部附属病院 産科婦人科 准教授 松村謙臣

2) 研究の意義と目的: この研究では、以前に JGOG3016 試験(本学倫理委員会承認番号 2314、承認日平成 15 年 11 月 4 日)へ参加していただいた患者さんの腫瘍組織の一部を使用して、卵巢・卵管・腹膜の高異型度漿液性腺癌の患者さんに対して、抗がん剤パクリタキセルを増量した dose denseTC 療法が有効である患者さんの病気の個性を病理形態的に検証し、抗がん剤治療の個別化を探索することを目的としています。

3) 研究の方法: この研究への参加に同意されると、手術ですでに摘出されているあなたの腫瘍組織の極少量(薄く切ってスライド貼付したものを)、あなたが通っている病院から、京都大学医学部附属病院/JGOG(婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構)データセンターへ提出することに了承いただいたこととなります。

- 4) 研究期間：平成 27 年 5 月倫理委員会承認後～平成 27 年 9 月 30 日

5) 上記の試料の使用を選定した理由：卵巢・卵管・腹膜の高異型度漿液性腺癌の患者さんに対して、抗がん剤パクリタキセルを増量した dose denseTC 療法が有効である患者さんの病気の個性を病理形態的に検証し、抗がん剤治療の個別化を探索することを目的としている

からです。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：あなたの個人情報およびプライバシーを保護するために、腫瘍組織が医療機関から提出される準備段階で、カルテ番号以外の個人を特定できる情報（住所・氏名・年齢・生年月日など）はすべて排除されます。

7) 研究成果の発表の方法：提出していただいた腫瘍組織の解析結果は、直接あなたの治療に役立つ情報ではないため、あなたや担当医師に対して連絡されることはありません。あなたの腫瘍組織を用いて行われた研究に関する結果が、あなたのカルテに記録されることもありません。

8) その他：この研究に参加することにより、あなたに新たな費用負担が生じることはありません。また、あなたへ報酬や補償金が支払われることはありません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

(代表者氏名) 久留米大学医学部附属病院 産科婦人科 教授 牛嶋 公生

(住所) 〒830-0011 福岡県久留米市旭町6-7番地

(TEL) 0942-31-7573 (FAX) 0942-35-0238

研究番号 15025